

■ グループ紹介

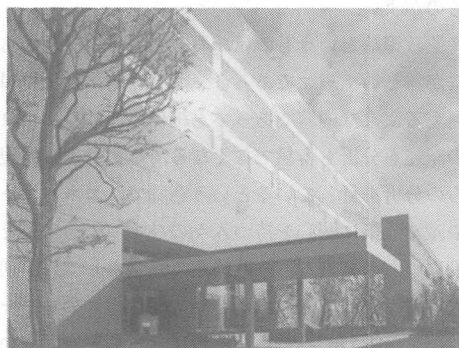
積水化学工業株式会社

1. 沿革

当社は1947年3月3日積水産業(株)として資本金10万円で創業。翌1948年1月に日本窒素肥料より買収した奈良工場で日本初の自動射出成型器によるプラスチック成型品の製造を開始し、同時に社名を積水化学工業と改称した。また同年8月より大阪工場にて可塑剤、ポリビニルブチラール等の製造を開始し、1952年には京都工場にて硬質塩ビ管の製造を開始した。以来家庭生活用容器類、屋根材等の建材、パイプあるいはフィルム・テープ状の製品へと製品分野を展開してきた。1965年には、当社独自の発泡体製造技術による電子線架橋発砲ポリエチレン「ソフトロン」の量産に成功した。

また、1968年には住宅産業への進出を決定し、1970年10月の第1回グッドリビングショーへ日本初のユニット工法による住宅「セキスイハイム」を出展、翌年の第1号展示場のオープン以来の事業展開により1993年には累積販売戸数が30万戸を突破するに至り、現在では当社の事業の柱の一つに成長している。

尚当社では、製造から販売・サービスにわたる品質管理の最高栄誉「デミング賞」を1979年に受賞した。TQC活動の積極的推進の成果と受けとめている。



住宅総合研究所

2. 現況

資本金：999億円（1995年3月末現在）

従業員数：5,869名（〃）

代表者：代表取締役社長 西澤 進

売上高：7,041億円

（73期/94年4月～95年3月）

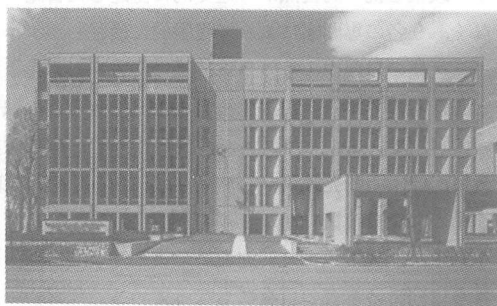
事業場：本社／大阪市北区西天満2-4-4

東京本社／東京都港区虎ノ門3-4-7

全国7支社，5研究所，9工場

積水グループ：上場5社（積水化学，積水ハウス，積水化成成品，積水樹脂，積水工機製作所）を中心に，国内外主要関係会208社。

年間総売上高32,299億円(1994年度)。



京都技術センター



筑波研究所

3. 事業部門と主な製品

管工機材部門：パイプ、ライニング鋼管、バルブ

住宅資材部門：雨樋、デッキ材、屋根材、浄化槽、浴室ユニット、人工芝

化学品部門：可塑剤、接着剤、PVB中間膜

テクノマテリアル部門

：包装用テープ、工業用テープ、発泡

ポリエチレン、ポリエチレンフィル

ム、産業用成型品、精密部品

ライフグッズ部門

：生活用品、ホームケミカル製品

メディカル部門

：真空採血管、テープ医薬、診断薬

住宅部門：ユニット住宅、宅地

・京都技術センター：成形加工技術を核に材料技術、コンピュータ技術の3技術に関する研究開発を実施。

・水無瀬研究所：高分子材料、新素材に関する研究開発を実施。

・筑波研究所：住宅設備を主要ターゲットに、電子技術、システム技術に関する研究開発を実施。

・メディカル研究所：各種診断薬、テープ医薬に関する研究開発を実施。

・住宅総合研究所：ユニット住宅に関する技術開発、製品開発を実施。

所在地：〒300-42 つくば市和台32

(文責：筑波研究所所長室係長 有原 正勝)

4. 研究開発

当社の研究開発の主な組織と事業内容を以下に記す。

図書紹介

防災対応コミュニケーション自立型都市エネルギーシステムを考える

「ライフスポット」



A5判 194頁

定価 1,800円(税込, 送料実費)

地震などの災害に強い街づくりを提言

未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災の経験を今後の貴重な教訓として活かすため、災害時を考慮した新しい環境調和型のエネルギーシステムの構築や災害時に地域の生活・防災拠点となりうる給油所のあり方等について提言！

本書は、「災害に強い街づくり」に向けた生活拠点(ライフスポット)の構築・維持のための「コミュニティ自立型エネルギーシステム」と「防災対応型給油所(ライフスポットSS)」について、できるだけ分かりやすく解説するとともに、関係資料も豊富に掲載しています。

■問い合わせ・申し込み先

〒540 大阪市中央区大手前1-5-44 (財)通商産業調査会近畿本部

TEL 06(941)8971 (代表) FAX 06(941)8974